

住みよい日本一の町を目指して

「安全・安心まちづくり」益城町集会



親しみやすい口調で
分かりやすく講演し
た川津氏



楽しみながら話に聞き入る出席者

1月28日、ミナテラス(交流情報センター)で、「安全・安心まちづくり」益城町集会が行われました。

参加したのは、町嘱託員、婦人会、老人クラブ、民生委員・児童委員を含む約150人。集会では、住永町長のあいさつの後、御船警察署の1ノ瀬範秋署長が、最近の管内での犯罪発生状況や警察の活動などを交えてあいさつしました。また、県消費生活相談員の川津るり子氏が「悪質商法があなたを狙っています！」と題して講演。その中で、「催眠商法」や「利殖商法」などを例に挙げ、その対処法について分かりやすく説明しました。

正しい知識を持ち、お互いが手を取り合って、犯罪や事故のない住みよいまちを作っていきましょう。

とても勉強になりました

実業団バスケットチームが飯野小でコーチ

1月23日、飯野小学校で「バスケット教室」が開催され、「鶴屋百貨店バスケットボール部」の監督・選手15人が、同小ミニバスケットボール部の子どもたちの指導を行いました。

この日は、1対1になった時の基本的な動き方やパス・シュートの練習など、約3時間にわたり選手たちが細かく指導。子どもたちは、低い姿勢を保った練習の連続に「足がパンパン。でも勉強になります」と笑顔で話していました。

練習の最後には、同チームが紅白戦を披露。子どもたちは、間近で繰り広げられる迫力のあるプレーを真剣な表情で見つめていました。



低い姿勢のドリブルを教わる子どもたち



清田会長(右)から図書目録を受け取る坂井さん(左)

みんなで大切に読みます

益城中央小で図書目録贈呈式

1月18日、益城中央小学校(北本修吾校長)で、熊本市明るい社会づくり協議会(清田春雄会長)からの図書目録贈呈式が行われました。

これは、同協議会が、青少年の健全な育成のために7年前から毎年、県内各地の小中学校で行っている活動です。

「いい子に育つようにいい本を読んで豊かな心を育てて欲しい。夜寝る前には、お父さん、お母さんに感謝の言葉をかけてください」という清田会長の言葉に、子どもたちは「ハイ!!」と大きな返事。児童を代表して、坂井利佳子さん(6年)が図書目録を受け取り、お礼に全校生徒が元気な声で益城中央小の校歌を合唱しました。